

本部

「JA役員との意見交換」

10月28日、みなみ総合センターに於いてJA役員との意見交換会が開催されました。

近年はホテルでの開催でしたが、コロナ禍での感染症対策を鑑み、みなみ総合センターでの開催となりました。

これからのJAの方針や青壮年部員の高齢化、新規部員の獲得の方策等、柳下組合長をはじめJA役員と幅広い分野で活発な意見交換がされました。

みんながWAPPY!
やるJA横浜!



本部

「横浜野菜の直売」

12月8日、横浜市新市長舎1Fアトリウムに於いて横浜市の推進する「横浜農場」と連携して『横浜野菜直売所』を出店させていただきました。37品の新鮮な野菜、果物そして加工品を青壮年部員の皆さんから集め、みなとみらいの近代的な新しい建物の中で販売することができました。「直接農家さんから野菜の説明や食べ方等を聞いて良かった！」とお客様の嬉しい声もいただき、横浜産農産物のアピールをすることができました。こうした活動で1人でも多くの横浜の農産物のファンが増えてくれたら嬉しいです。横浜の農業を未来に繋げていけるように！持続可能な都市農業を目指していきましょう！

この事業にご協力いただきました横浜市の農業振興課の皆さん、JA職員の皆さん、野菜を提供していただいた青壮年部の皆さん、本当にありがとうございました。

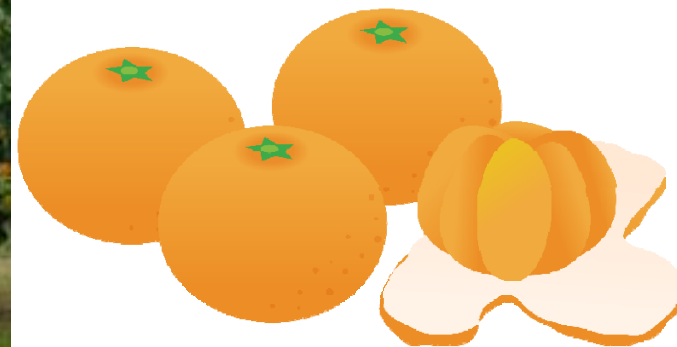


本部 「家族ミカン狩り」

11月1日、横浜相原果樹園に於いて後継者育成事業、「家族ミカン狩り」が開催され、13支部101名の青壮年部員世帯にご参加いただきました。コロナ禍で開催も危ぶまれましたが、「こんな時だからこそ青壮年部の家族に楽しんでもらえる場を提供したい」との強い思いから安全面を最優先に考慮しての実施となりました。

当日は好天に恵まれ暖かな日差しの中、最高のレジャー日和となりました。太陽に照らされオレンジ色に輝く、たわわに実った美味しいミカンをいただきながら終始、笑い声の絶えない時間を過ごすことができました。

圃場を提供いただきました相原様をはじめ御手伝いいただきました瀬谷支部の皆様、開催にあたりご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。



日野支部

「日野くんの畑」で芋ほり大会

農業の理解を深めることを狙い、部員による農業体験として始めたサツマイモの栽培。11月8日に収穫体験の芋ほりを行いました。「農業まつりで焼き芋にしてひと儲け」と思っていたのに、今年のまつりは中止となりました。それじゃあみんなで分けちゃおう、と掘ったイモを山分けしました。部員と部員の友人や家族、事務局が参加、大人も子供も一生懸命にほりあげて、たくさんお芋が掘れました。来年は栽培をもう少し増やして、芋ほりも楽しんで、まつりでも売れるようにしたいです。

